

「推進員活動に関するアンケート」集計結果（令和５年度委嘱）

令和６年４月実施

アンケート対象

令和５年度に八千代市廃棄物減量等推進員として委嘱され，活動した方９６名

アンケート送付数	61人
アンケート回答者数	61人
紙	50人
ちば電子申請サービス	11人
回答率	100.0%

問１．これまで推進員を何回お引き受けていただいていますか。

回答数	60
未回答数	1
回答率	98.4%

	回答数	割合
1 初めて	33	55.0%
2 2回	9	15.0%
3 3回	3	5.0%
4 4回	1	1.7%
5 5回	3	5.0%
6 6回以上	11	18.3%
計	60	100.0%

問２．担当する地区の集積場所では、ごみの出し方のルールはどの程度守られていますか。

回答数	61
未回答数	0
回答率	100.0%

	回答数	割合
1 きちんと守られている	20	32.8%
2 だいたい守られている	40	65.6%
3 あまり守られていない	1	1.6%
4 ほとんど守られていない	0	0.0%
計	61	100.0%

問3. 問2で2～4を選択した方にお伺いします。集積場所で守られていないことはどんなことですか。（3つまで回答可）

回答対象者数	41
回答数	40
未回答数	1
回答率	97.6%

	延べ回答数	割合
1 ごみの分別の不徹底	23	35.4%
2 ごみを出す日や時間が守られていない	21	32.3%
3 指定ごみ袋の未使用	6	9.2%
4 事業所（会社）のごみが出される	2	3.1%
5 その他	13	20.0%
計	65	100.0%

5 その他の記述

- ・弁当ガラ・お菓子・ジュース等のポイ捨てが時々ある。
- ・集合住宅の方の分別が比較的多くみられる。
- ・他市のゴミ袋を使用している。
- ・ペットボトルの中にポリエチレンボトルが入っている。大きさや長さが守られていないごみが出される。
- ・ダンボール等をヒモでゆわえていない家がある。
- ・ネットをちゃんとかけないで可燃ごみを出す。
- ・粉らわしい分別がある。燃えるごみへのプラスチック容器のペットボトルの混入。
- ・町内外の人の不法投棄が目につく。（ふとん、くつ、フライパンなど）
- ・団地以外のゴミの投棄。
- ・外部から不法投棄がある。（自転車、布団、不燃ごみ等）
- ・ダンボールの結束、土の廃棄
- ・他のブロックの集積場所へごみを捨てる。
- ・外部からの持ち込み。
- ・たまにごみ袋が整理されてない時がある。
- ・前日の夜に出されている事がある。

問4. ごみ行政において、特に重要だと思うものはどれですか。（3つまで回答可）

回答数	59
未回答数	2
回答率	96.7%

	延べ回答数	割合
1 ごみの減量化や資源化の推進	46	30.1%
2 ごみ収集体制の整備	10	6.5%
3 ごみ処理の効率化や安全性	7	4.6%
4 不法投棄の防止及び対策	35	22.9%

5	近隣市とのごみ処理による施設の広域化	2	1.3%
6	事業系ごみの減量化	1	0.7%
7	市民・事業者向けの広報・啓発活動	13	8.5%
8	環境教育の推進	11	7.2%
9	ごみ行政に関する情報公開	9	5.9%
10	プラスチックの分別収集	16	10.5%
11	その他	3	2.0%
計		153	100.0%

11 その他の記述

- ・プラスチックの分別は大変と思われるが、今後分別出来ると思う。
- ・ペットボトルの中の水洗いが必要。
- ・ごみ袋の記名の徹底。（未記載者が多い）
- ・プラスチックをリサイクルできるシステムの構築と粗大ごみも埋め立てではなく、リサイクルセンターを設立し、技術のある人を雇用し、もう1度リサイクル品として販売していく循環型をめざしていただきたい。

問5. ごみや資源物の分別区分についてどう思いますか。

回答数	60
未回答数	1
回答率	98.4%

	回答数	割合
1 分かりやすい	25	41.7%
2 普通	32	53.3%
3 分かりにくい	3	5.0%
計	60	100.0%

問6. 問5で3を選択した方にお伺いします。どうしたらわかりやすくなると思いますか。

（自由記述）

回答対象者数	3
回答数	3
未回答	0
回答率	100.0%

- ・収集をしている方に、間違えて出されているゴミを聞き、一覧で配布をすると良い
- ・資源物とごみの区別を具体的に細かく記す
- ・自治会で出た枝や、木の回収を緩和してもらいたい。

問7. ごみの適正処理及び減量化のため、自治会等の団体に工夫していることがありましたら教えてください。（自由記述）

例：資源物の集団回収を行っている。集積場所の状況把握や指導を行っている。

回答数	40
未回答数	21
回答率	65.6%

- ・ 町会で月1回、資源物の収集を行っていて、回覧や班長会議などで毎月周知している。月1回の班長会議にて、お困り事の相談という形でゴミ出しの問題点についても相談に乗っている。
- ・ 年1～2回、ごみ拾い清掃活動を行い、ゴミ集積所の状況や町会内の環境を見て感じてもらっている。
- ・ 町会員への啓発
- ・ 月2回資源物の集団回収を行っている。集団回収当日は、地域住民への告知のため集積所にのぼりをたて啓発に努めている。
- ・ ごみを出すにあたっての、よくある間違いなどを回覧。
- ・ 市作成のゴミ分別冊子を配布している。
- ・ 適正処理は、苦情など発生した時点で、UR、JS（クリーンメイト）と連携をとって共有している
- ・ 市からの「ごみの分け方、出し方」を配布している。
- ・ 小学校の父兄が新聞、雑誌の集団回収を行っていた。ごみ集積所の掃除を住民当番制で行っている。
- ・ きちんと分別されずごみを出している場合に張り紙をする。段階を追って少し強めの不法投棄のポスターなどを掲示する。
- ・ 特になし
- ・ 自治会資源回収活動の推進を活発に自主的に実施している。
- ・ 階段ごとにゴミ集積の日にちと種類を掲示しています。
- ・ 集団回収を行っている。ゴミステーションの説明をしている。
- ・ 資源物の集団回収を行っている
- ・ 資源物の出し方を、戸別訪問しよく話あっている
- ・ 資源物の集団回収を行っている。
- ・ 第1、第3の金曜日に地域集団回収をしている。月に1度、可燃ごみ、不燃ごみ、資源ごみのゴミパトロールをしている。
- ・ 資源物の回収を月2回、第1第3金曜日に行っている。月1回ゴミパトロールを実施している。
- ・ ゴミカレンダーをホームページからダウンロードして、町会内の各戸に配布している。一部のアパートにも全戸配布している。（ゴミカレンダーの文字を出来るだけ大きくしてほしい）
- ・ 特になし（行政任せ）
- ・ ほとんどの集積場所であみをかけるなど、鳥や動物からの被害を受けぬよう協力している。
- ・ 特にありません。

- ・ 集積場所に対する定期的なチェックと自治会内での集合活動時のごみ処理方法についての簡単な出し方の説明を会員に対して行う。
- ・ 枝をチップにする機械を購入して対策している。
- ・ 特になし
- ・ 集積場所に、不法投棄のステッカー、カメラ設置等の注意事項の設置
- ・ 新聞、ダンボールの他は学校の回収にしている
- ・ 祝日等でごみの回収がない日に、「ゴミ出しストップ」の札を作って下げておくことで誤って出さない様に工夫している。
- ・ 特になし
- ・ 特別ありません
- ・ 資源物の集団回収を行っている。
- ・ なし。
- ・ ゴミの適正処理においては、祭日のゴミの出し方、回収日以外にゴミを出さないように注意を促す。（張り紙等）推進委員会の資料を回覧で回した。
- ・ 特になし
- ・ ゴミの捨て方や減量方法の情報共有を行っている。
- ・ 資源物の集団回収を行っている。
- ・ 資源物の集団回収を行っている
- ・ アルミ缶、新聞、紙、ダンボール、衣類など業者に出し、売り上げ代金を町会で使用している。
- ・ 資源物の集団回収を行っている

問 8. ごみの減量に対する市民の意識の向上には、どのようなことが必要だと思いますか。

（自由記述）

例：リサイクルの仕組みについて、啓発が必要。自治会内で情報共有をする。

回答数	39
未回答数	22
回答率	63.9%

- ・ 清掃センターの見学会を一般市民向けにやった方が、より理解が深まると思う。
例. 1人500円くらい取るかわりに、お弁当・送り迎えを付けたり、記念品（やっちグッズなど）を出すなどして、市民が「参加したい!」と思えるインセンティブを付けると良いかも知れない。地区ごと、町会ごとなどの清掃センターツアーを企画し、町会費で参加費を賄ってもらうのも良いかも知れない。
- ・ 意識向上のため、出前勉強会の会催を行い意識と教養を高める。
- ・ 啓発
- ・ リサイクル知識の住民への徹底。
- ・ ごみの分別について更なる啓発が必要。
- ・ 自治会内の実態としては、減量よりも不適切なごみ出しを減らすことや、不適切なごみ出しへの対応のほうの問題。これを解決できなければ、減量課題への意識的な対処は難しい。

- ・市から、より積極的な広報活動が必要。自治会での啓発は限度があり、重みがない。
- ・リサイクルの仕組み、市として、現時点の問題や必要な対策など、意識啓発の為、出張セミナーを行いたい。
- ・集積所内にルールが分かりやすく書かれた看板の設置、監視カメラの設置を検討。
- ・回覧板などに毎回テーマを決め、わかりやすく絵やイラスト、4コママンガなどで減量できるとどのようなメリットがあるのかを、みなさんにわかってもらう。
- ・市民と自治を結ぶ公報紙を有意義に活用する。デジタルを通して市民に今以上に啓発活動を行う。
- ・どのような物がどのようにリサイクルされていくのかの情報が必要
- ・生ゴミ等は畑のコヤシ等になるので家庭菜園を行っている方に協力してもらい、他のゴミは分別してリサイクル等に回している。
- ・しばらく啓発活動をしていなかった所以需要と思う。
- ・市の担当の方に来て頂き、ごみ減量に対することを、学び合っていく。
- ・市のゴミ収集の担当者に来場を願い、ごみ減量に対する事について学ぶ。
- ・何故「ごみの減量が必要」から、住民に徹底認識させるべきと考える。
- ・ごみ処理費用は、私達の税金でまかなわれていることのアピール。限りある資源なので、「拾てればごみ、活かせば資源」を何度も訴えていく。
- ・小・中学校の授業でゴミ減量、ゴミリサイクルについて教育をすることで、将来に向けたゴミ問題につながってゆくと考える。
- ・第2回の研修会（清掃工場見学）の要約を自治会の定例会で報告したところ、「自治会役員全体的の見学」ができないか？との意見がでました。まさに啓発活動を深化していくのが肝要と思います。
- ・可燃ゴミの内、プラスチック製の容器等のリサイクル回収方法の検討。ペットボトル等と同等の回収方法はどうか。
- ・枝をチップにする機械を購入して対策しているが、機械の機能が低いので馬力を強くしたく購入の為に補助金を希望したい
- ・指導する。
- ・自治会のニュース等でこまめに啓発していく。
- ・ごみの処理代として、年間いくら位の税金が使われているかを、市でわかり易くパンフレット等にまとめ、回覧板等で周知する。
- ・リサイクル可能なものをもっと増やして頂きたい。
- ・本当に必要な物か、熟慮してから購入する。生ゴミはコンポスト等で肥料にする。
- ・ゴミの減量をすることによってどんなメリットがあるのかと、各家庭でできる減量方法の啓発。
- ・義務教育時からの啓発、ゴミ拾い等参加が必要
- ・自治会において担当職員が説明していただきたい。
- ・リサイクルの仕組みについて、啓発が必要。
- ・子供に対してのゴミ分別教室。
- ・若年層にも広く情報共有されるよう、SNSなどで発信すること。
- ・違法なゴミの出し方を周知する。学校教育、校外学習を行う。
- ・広報活動

- ・ゴミの捨て方、減量方法についての啓発活動はもっと必要なかと思います。大人だけで無く子どもたちへの啓発もイベントなどといっしょに楽しくできたら良いと思います。
- ・資源物の集団回収を行っているが、まだまだ可燃ごみの中に資源物としてリサイクルできるものが入っている。さるなる啓発、周知が必要と思う。
- ・ゴミステーションへの持ち込みにポイント付与する。
- ・生ゴミの水分の出し方、資源物の出し方など町会のニュースで知らせ町会内で情報を共有しており、それが大事だと思う。

問 9. 約 9 か月間の推進員活動の中で良かったことや苦勞したこと等、感じたことを教えて下さい。（自由記述）

回答数	45
未回答数	16
回答率	73.8%

- ・清掃センターの見学がたいへん勉強になった。
- ・清掃工場の見学説明を受け、清掃事業の苦勞や大切さを勉強できた。新設のごみ置場を作るのに苦勞した。必要だけど、私の家の近くには作らないで欲しいとの意見があり苦勞した。
- ・不法投棄の防止
- ・可燃物をカラスにやられ掃除するのがあった。
- ・ごみを出す日や時間の守らない方がいて集積場所に注意書きの看板を作成するなどして徹底を図った。
- ・ごみ処理場の見学を通じて八千代市のごみ処理状況について理解を深めることができた。
- ・ごみ当番なのに何もしない人がいるとの話が持ち上がった。ごみ当番が何をやるべきかについて、明文化されたものがなかったこともあり、対処が難しかった。
ゴミ処理場の見学は良かった。一般市民にも広げたら良いと思います。小、中学生の見学会など推進が必要。
清掃センターの見学ができたこと。減量化はまったなしの現状です。地域での啓発運動が進められるように考えていきたい。
- ・分別されていない未収集のゴミを分別して出す。曜日や時間を守らないゴミなどに注意書きをする。違反者には市の方から直接指導してほしい掃除当番は順番制だが、やらない人が多い。
- ・意識がごみの減量に向いたのは良かった。
- ・八千代市の指定のゴミ袋を使用せず他市のゴミ袋を使用していた人がいた。50世帯以上、そのゴミ集積場所を使用しているので、特定するのに自治会の会員3名位で朝見張った。英語と日本語で八千代市の袋を使うようゴミ集積場所に記載したがダメだった。日本人ではない人が1ヶ月以上かかって出している人がわかり、自治会で購入した八千代市指定ゴミ袋を渡し説明したが、また同じ人が集収日以外に生ゴミを出していたことから、後日、再度説明した。居住所が外国人であると、ルール理解が難しいので説明が大変
- ・町内の道路にビニール袋につめた大きなゴミを捨てていく車があるので、何度か意識して処理した。1人の人が捨てている。

- ・ゴミ収集工場を見学し、説明を聞いた事に依ってゴミの出し方に変化があった事。ゴミ収集場所の衛生・清潔化に努めること。
- ・クレームが多い。
- ・ごみ集積場所の掃除につとめた
- ・自治会内の集積所に、他地域の者がゴミを投げ入れていったことがある。
現在迄数回推進員になっており、私なりの指導も良く聞いてもらい、活動に協力をしてもらい少しづつゴミに対する知識が進んでいるように思える。
- ・当自治会は住民の集積所に対する意識が高く活動することに余り負担感がない。カラス対策に困っている。
- ・ごみパトロールをする中で、ほとんど皆さん、きちっと出してくれていることがうれしい。
最近、特に外国の方が、多く増えたので、ゴミのトラブルもあり、何とかしなければと思っている。
各棟により差はありますが、カラス等によりごみが散らされていた事もあったが、ごみネットの活用が全体に行き渡り、カラスもあきらめた。
- ・外国人が住むアパートが増えてきている。彼らもゴミカレンダーや分別の方法が分かれば従ってくれる人が多いはず。もっと知らしめる方法を探りたい。
- ・今年度は、久々に班単位のごみゼロ運動ができたのは良かった。たいした活動もできなかったが、自分たちのためにごみ減量（リサイクル、リデュース、リユース）が大切なことを折りにふれアピールしていく必要があると痛切に感じた。
- ・新たに、他の市町村より引っ越してこられた方に、八千代市のゴミ分別方法を説明し納得して頂いたこと。ゴミ集積場所の備品（ネット、ほうき、ちり取り等）の維持管理。
- ・ゴミの減量やリサイクルの実態について、勉強になりました。
- ・推進員となり、自治会内だけではなく周辺のごみ処理、ごみの出し方等に対する考え方、注意力が深まった。
- ・特に無し
- ・外部業者の持ち込みと思われる産廃の投棄多発。スプレー缶のガス未処理のままの投棄。新入居者のルール理解出来ない事によるゴミ出し。住民の高齢化が急速に進む中、高齢の為、処分の力不足の為ガス抜きが出来ず未処理のまま廃棄するケースが多発している。当自治会では現在役員がガス抜きをして、処理をしているが、未処理のまま清掃センターで収集して処理できる様対策をお願いしたい。
- ・少しでも良くしたいと思うがなかなか旨くはいかない。何をすればで止まる。不法投棄（内外含）で良かったのはなつ。
- ・不法投棄で1ℓペットボトルにおしっこを入れ八千代の指定ゴミ袋に20本位入れ、集積場所の2ヶ所に置いて行かれ、処理が大変であった。警察にも来ていただき現場検証していただき、その後、置かれていません。他の地域でもないようであった。
- ・上高野のゴミ処理工場を見学出来たことが良かった。実際に処理している現場を見る事で、意識が高まると感じたので、小中学生や市民の見学会を行う事がごみの減量にもつながるし、分別意識の向上になると思います。
- ・総会で、なるべくまとめられるゴミはまとめてゴミ袋を増やさないう啓発活動を行い、少しだが、ゴミ袋の使用削減につながった気がしています。
- ・自分の中で紙ゴミなどのゴミ減量に対する意識が変わったこと

研修会の日程が合わず参加する事が出来ませんでした。申し訳ありません。日頃長距離を歩いていて、ゴミが落ちていることが気になります。年に数回ゴミ袋やトングを持って拾いながら歩きます。特にゴミが多いのは、コンビニの近くですね。

- ・ 収集の無い日を、7ヶ所のステーションに張り紙を出すのだが、一年間の予定表を各戸に配れると良いと思った。外国人に説明するのは、むずかしい（アジア系）
- ・ 黄色紙が貼られているゴミ袋で「不燃ゴミに可燃ゴミが混っている」を持ち帰り、分別して出し直すこともあります。
- ・ なし。
- ・ 地域外の者による収集日外のゴミ置き去りが何度かあり苦勞した
- ・ 八千代市清掃センターの見学は良かった。見学時に見たスライドで感じた事で、ペットボトルの蓋を取る作業は、フタを集めているところがあるとの事。分別方法があれば良いと思った。ビンの色分け作業は、色（茶、みどり）透明くらいできるのではと思う。
- ・ ゴミの出し方について意識が変わった。
- ・ あらためて、ゴミを減らすことについての大切さを認識できた。なかなか自治会内での住民の方全員にご理解頂くことの難しさを感じた。
- ・ 粗大ごみの回収で手順を理解していない方がおり、処理券購入し、貼付まではするものの、回収依頼をしていないケースがある。回収受付専用電話へ相談するも、それは不法投棄になるので、不法投棄受付専用電話へ連絡して下さいとのこと。市役所内の連絡で処理できないか。
- ・ 良い情報、正しい情報を会員に周知させる事の大切さと難しさを感じた
- ・ 自治会での具体的な活動につなげる事の難しさ。
- ・ 生ごみなどの出し方など大分良くなっているので良かったと思っている。苦勞とは思わない。

問10. プラスチックの分別収集を行うことについてどう思いますか。

回答数	60
未回答数	1
回答率	98.4%

	回答数	割合
1 賛成	45	75.0%
2 反対	2	3.3%
3 わからない	11	18.3%
4 その他	2	3.3%
計	60	100.0%

4 その他の記述

- ・ 行き過ぎたSDGsは、市民の方がかえって「面倒くさい」と思ってしまい、分別されないゴミが増えるのではない か？という懸念がある
- ・ すでに分別している地区があり、絶対に必要。
- ・ 事前にプラスチックとは何か徹底した事前周知が必要。
- ・ プラスチックなのかどうかわからないものはどうするのが課題。

- ・プラスチックを減らしても回収のためCO₂が増加するのではないかと。また、プラスチックが減少したら焼却する際に火が足りないのではないかと。
- ・是非推進を希望。
- ・もう何年も前からやっている自治体もある中、取り組むのが遅いと思う。
- ・基本的には賛成だが、わかりにくいと感じる。
- ・あまり細分化し複雑にすることはよく考えてほしい。商品に書かれる文字は小さく、視力の弱い者には見にくい。
- ・この頃は多いので良い事と思う。

問11. プラスチック使用削減のために、何か取り組んでいることがありますか。（2つまで回答可）

回答数	59
未回答数	2
回答率	96.7%

	延べ回答数	割合
1 マイバックを使用	49	50.0%
2 エコ商品の購入	7	7.1%
3 マイボトル・マイ箸を使用	8	8.2%
4 プラスチック製品の購入をなるべく避ける	7	7.1%
5 詰め替え商品の購入	23	23.5%
6 特に取り組んでいない	4	4.1%
計	98	100.0%

問12. 可燃ごみの収集回数を週3回から週2回に変更し、可燃ごみの収集を減らした曜日にプラスチック類の分別収集を週1回新たに行うとした場合、どう思いますか。

回答数	57
未回答数	4
回答率	93.4%

	回答数	割合
1 可燃ごみの収集回数は週2回となっても良いので、早く開始した方がよい。	15	26.3%
2 可燃ごみの収集回数が週2回となるのは困るが、いずれ開始した方がよい	15	26.3%
3 可燃ごみの収集回数は週2回となるのは困るので、週3回のままで、開始して欲しい。（経費が増加します）	18	31.6%
4 プラスチック類の分別収集はしない方がよい。（可燃ごみ週3回）	5	8.8%
5 その他	4	7.0%
計	57	100.0%

5 その他の記述

- ・きちんと分別できるのか、イメージできない。もっと多様な観点から検討が必要

- ・段階的に実施する。最初は、プラスチックのみ月2回行う。
- ・完全に分別されると思えない。推進員の仕事が多くなる
- ・2回とするには、広報でかなり周知が必要。船橋市は2回で、習志野市はゴミ袋が指定ではない。
- ・不燃ごみが第2、第4に2回あるが、1回にして、もう1回をプラスチック回収にしてはどうか。
- ・不燃ゴミの回収を1回にし、もう1回はプラスチックの回収にする。
- ・週2回となった場合、休日も行う様にするなら1で良い。
- ・上高野地域は可燃ごみ回収は週3回
- ・きちんと分別、リサイクルできるシステムができるのなら一刻も早く開始した方がよい。
- ・可燃ごみの収集回数は従来どうりの回数とし、プラスチック類の分別収集は、びん類、缶、ペットボトルの資源物と同等の扱いとし、同日回収で行なえないのか。
- ・不燃ごみの収集日に、プラスチックゴミを回収するのが良いと思う。可燃ごみの収集回数は3回で変更なし。
- ・プラスチックについては商品業者に努力してもらう。

問13. 問12で、プラスチック類の分別収集を新たな有料指定袋により実施するとした場合、どう思いますか。

回答数	56
未回答数	5
回答率	91.8%

	回答数	割合
1 現状の可燃ごみ用指定袋と同等価格なら良い	29	51.8%
2 現状の可燃ごみ用指定袋より安い価格なら良い	14	25.0%
3 任意の袋等を使いたい	8	14.3%
4 その他	5	8.9%
計	56	100.0%

4 その他の記述

- ・わからない。実施する場合は様々な観点から検討した方がよい
- ・現状では分別方法が理解できない。
- ・ペットボトルの回収と同様にプラスチック類のための回収ネットを利用できないか。追加の料金が発生すると分別効果はないと思う。
- ・プラスチック類の別の袋は安く大きな袋にすべきだと思う。
- ・現状のままで良い。
- ・老若男女が行うことだから、ルールは単純化すべき。
- ・ペットボトルと同じような袋を使用する。

問14. 今後、アンケートの回答方法について、推進員の方の負担を減らすため、二次元コードなどを利用したちば電子申請サービスによるインターネット回答への移行を検討しています。ちば電子申請サービスに移行した場合、回答は可能ですか。

回答数	57
未回答数	4
回答率	93.4%

	回答数	割合
1 可能	22	38.6%
2 自分は可能であり、他の方が推進員になった場合もおおかた可能	7	12.3%
3 自分は可能であるが、他の方が推進員になった場合はできない可能性が高い	7	12.3%
4 返信用封筒による郵送回答（現状）が良い	17	29.8%
5 その他	4	7.0%
計	57	100.0%

5 その他の記述

- ・推進員ではなくて、市役所業務の負担と紙利用の削減のために移行すべき。パソコンでの利用支援などを市をあげて取り組むべき。因みにパソコンに二次元コードを読み取らせる方法がわからなかったのでスマホでやっているが、かなり使いにくい。
- ・デジタルは苦手なため、教えてもらえれば可能
- ・インターネットと郵送回答の二通りではどうか
- ・電子申請サービスと二本立がよい。
- ・自分も老令化し、他も一人ぐらしが多い、インターネットは難しい。
- ・今の自分は出来ないが、出来る人になるので出来る思う

（総評）

アンケートの回答率は約64%であり、そのうち、ちば電子申請サービスを利用して回答した人は、全体の約18%であった。回答率は前年の65%とほぼ変わらなかった。初めて推進員に委嘱された人は55%であり、前年の60%とほぼ同水準であった。

ごみ行政において、特に重要だと思うものについては、ごみの減量化や資源化の推進と不法投棄の防止及び対策と回答した人が多く、全体の5割以上となり、プラスチックの分別収集が重要と回答した人は、全体の1割程度であった。

ごみ減量化のため自治会等の団体で工夫していることや、ごみの減量に対する市民の意識の向上に何が必要かの回答では、実際に集積所に携わる視点での貴重な意見があり、参考となった。

アンケートの回答方法について、ちば電子申請サービスによるインターネット回答が可能またはおおそ可能と回答した方は約50%に上り、前年の35%よりも上昇した。また、容器包装プラスチック等の分別収集に賛成と回答した方は約75%に上った。